

大使館情報

2023年11月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

- (1) 1月8日の三権襲撃事件に関する議会合同調査委員会（CPMI）による報告書の提出
- (2) リオデジャネイロ市西部における民兵組織（Milícia）によるバス等襲撃事件
- (3) 伯文化省による文化政策（PNAB）の発表
- (4) ルーラ政権支持率（世論調査）

【外交】

- (1) イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突関連
 - (ア) ルーラ大統領と各国首脳との電話会談
 - (イ) 国連安全保障理事会（伯提案の決議案）
- (2) 伯ベネズエラ電話首脳会談
- (3) 南米諸国首脳会議：「南米統合のロードマップ」の発表
- (4) 国連人権理事会（HRC）理事国選挙

3. トピックス

第36回生け花展の実施

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（10月発表の経済指標）

- (ア) 8月の鉱工業生産は前月比+0.4%、前年同月比+0.5%となった。
- (イ) 8月の小売売上高は前月比▲0.2%、前年同月比+2.3%となった
- (ウ) 9月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.26%となった（前月：+0.23%）。直近12か月累計は+5.19%となり、前月（同+4.61%）となった。
- (エ) 失業率（7～9月）は7.7%となり、3か月前（4～6月）の移動平均8.0%から0.3%ポイント低下。また前年同期（2022年7～8月）の8.7%から1.0%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、10月27日時点で、GDP成長率予測については、2023年は+2.89%（前週から0.01%ポイント低下）で、2024年は+1.50%（前週から変わらず）となった。インフレ率については、2023年は4.63%（前週から0.02%ポイント低下）で、2024年は3.90%（前週から0.03%ポイント上昇）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 10月4日、議会上院は炭素排出量取引システムに関する法案を可決。気候変動国家計画や国連気候変動枠組条約でのコミットメントに基づき温室効果ガスの排出を制限するため、ブラジル温室効果ガス排出量取引システム（SBCE）に関する法整備を図るもの。
- (イ) 10月11日、IMFは「世界経済見通し」を発表。ブラジルの実質GDP成長率について、2023年は+3.1%、2024年は+1.5%との見通しを示した。
- (ウ) 10月25日、税制改革に係る憲法修正案の報告書が議会へ提出。税負担の上限設定と5年毎の税率の見直し、専門サービス（弁護士、会計士等）に対する軽減税率の設定、地域開発基金への資金増額等が含まれている。

(3) 金融政策

10月31日及び11月1日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて12.25%とすることが決定された。次回会合は12月12日及び13日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 10月の為替市場は4.95～5.19リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.05～5.19リアル/ドルで推移。米金融政策見通し等を材料に上下して推移した。
- (ウ) 月の後半は4.95～5.06リアル/ドルで推移。米国金融政策の見通しや中東情勢のほか、伯財政の見通し等を材料に上下して推移した。

(5) 株式市場

- (ア) 10月の株式市場は112,532～117,051ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は113,607～117,051ポイントで推移。資源価格の動向等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は112,532～116,534ポイントで推移。米国金融政策の見通しや中東情勢のほか、伯財政の見通し等を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

- (1) 1月8日の三権襲撃に関する議会合同調査委員会（CPMI）による報告書の提出
10月17日、三権襲撃に関する議会合同調査委員会（CPMI）の報告官であるエリジアーネ・ガマ上院議員が提出した報告書を賛成多数で採択した。同報告書は、同襲撃事件に関し61名の起訴を求めるもので、ボルソナーロ前大統領についても、同襲撃を計画した主犯の一人としている。
- (2) リオデジャネイロ市西部における民兵組織（Milícia）によるバス等襲撃事件
10月23日、リオデジャネイロ市西部地域において、民兵組織が走行中のバス35台やリオ州近郊鉄道（Supervia）の車両1台に放火する事件が発生した。
- (3) 伯文化省による文化政策（PNAB）の発表
10月25日、伯文化省は、パンデミック等により弱体化した文化セクターの回復を目的に、今後5年間に亘り、文化分野に150億リアルを投資する「アルディール・ブランク国家政策（PNAB）」を発表した。
- (4) ルーラ政権支持率（世論調査）
10月19日から22日にかけて、Quaest社により2000人を対象に行われたルーラ政権支持率に関する世論調査によると、「ポジティブ」は38%（前回8月調査比4%減）、「ネガティブ」は29%（前回比5%増）となった。

【外交】

(1) イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突関連

(ア) ルーラ大統領と各国首脳との電話会談

ルーラ大統領は、イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突の発生を受け、以下の電話会談を実施。ルーラ大統領は人道回廊の重要性、人質の即時解放を強調し、同地域の政治的解決と平和を求める重要性を再確認した。

10月11日：伯 UAE 電話首脳会談（ムハンマド UAE 大統領）

10月12日：伯イスラエル電話首脳会談（ヘルツォグ・イスラエル大統領）

10月14日：伯パレスチナ電話首脳会談（アッバース・パレスチナ大統領）

伯エジプト電話首脳会談（エルシーシ・エジプト大統領）

10月16日：伯 EU 電話首脳会談（ミシェル欧州理事会議長）

10月17日：伯トルコ電話首脳会談（エルドアン・トルコ大統領）

伯イラン電話首脳会談（ライースィ・イラン大統領）

10月20日：伯仏電話首脳会談（マクロン仏大統領）

10月23日：伯露電話首脳会談（プーチン露大統領）

10月25日：伯カタール電話首脳会談（タミーム・カタール首長）

（イ）国連安全保障理事会（伯提案の決議案、10月は伯が国連安保理の議長国）

10月18日：伯による安保理決議案が否決（理事国中、日本を含む12カ国が賛成、2カ国（英・露）が棄権、1カ国（米）が反対）

（2）伯ベネズエラ電話首脳会談

10月16日、ルーラ大統領はマドゥーロ・ベネズエラ大統領と約30分間の電話会談を実施し、両首脳は、ベネズエラで来年予定されている大統領選挙、両国間の貿易の促進、投資協力・円滑化協定の交渉の加速、ベネズエラから伯への電力流出の再開等について、協議した。

（3）南米諸国首脳会議：「南米統合のロードマップ」の発表

10月16日付プレスリリースにて、伯外務省は、5月30日にブラジルにて実施された南米諸国首脳会議のフォローアップとして、南米諸国間で「南米統合のロードマップ」の採択したことを発表した。同ロードマップは、今後の協力における17の重点分野や、最低1年に1回の首脳レベル、1年に2回外相レベルでの会議実施等、ハイレベルの定期的な対話の枠組みに関し合意したものの。

（4）国連人権理事会（HRC）理事国選挙

10月10日、伯は、国連人権理事会（HRC）の理事国選挙において、144票を獲得し、2024年から2026年までの任期で選出された。

3. トピックス

第36回生け花展の実施（10月19～22日）

10月19日～22日、当館は生け花草月ブラジルと共催で「第36回生け花展」を市内のショッピングモールで行い、19日に開催されたオープニングイベントでは高野臨時代理大使が挨拶を行った。ブラジルをはじめとしたさまざまな国の花々が、華道家の手により美しい生け花作品となり、展示された。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)
在マナウス総領事館 : [facebook](#)
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和5年度第2四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2022年4月5日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏

- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2023年8月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連
絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2023年4月11日

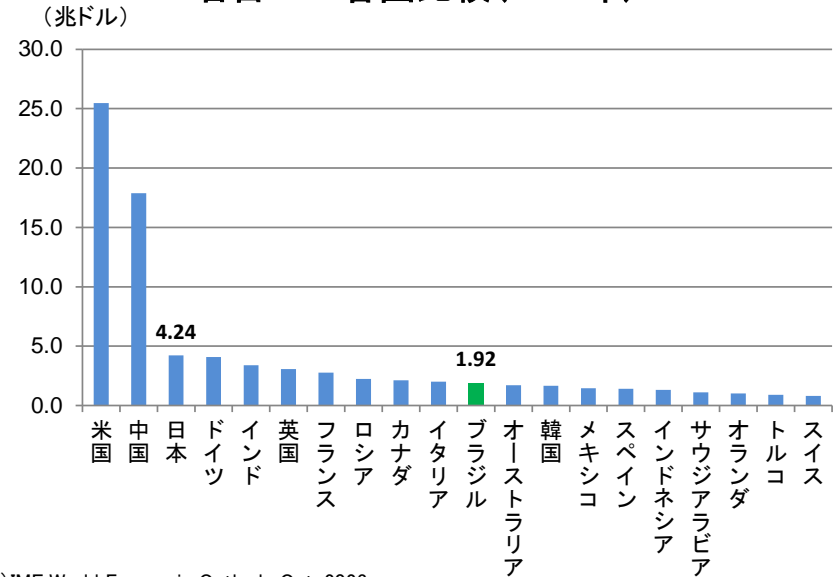
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

1. 経済構造

1. 人口約2億300万人、面積約851万km²(2022年国勢調査)
2. 世界第11位の経済規模(名目GDP約1.92兆ドル(2022年):日本の約45%)。一人当たりGDP(約9,455ドル(2022年))は、日本の約28%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別で見ると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

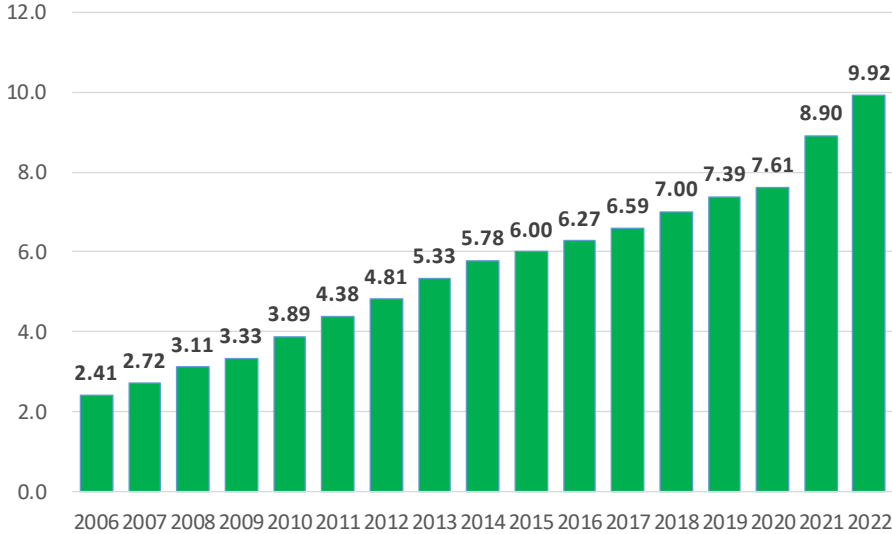
名目GDP各国比較(2022年)



(出典)IMF World Economic Outlook, Oct, 2023

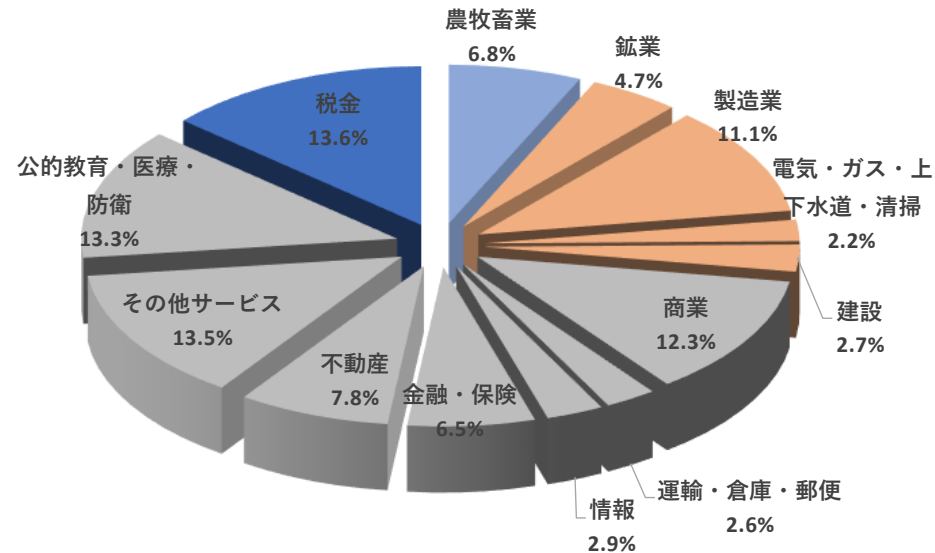
名目GDPの推移

(兆リアル)



(出典)伯地理統計院 (IBGE)

名目GDPの産業別構成比(2022年)

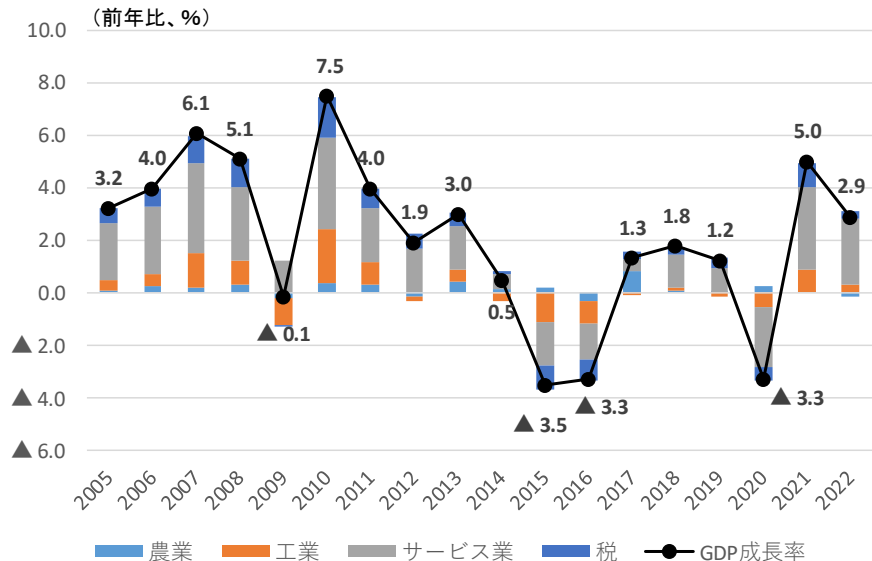


(出典)伯地理統計院 (IBGE)

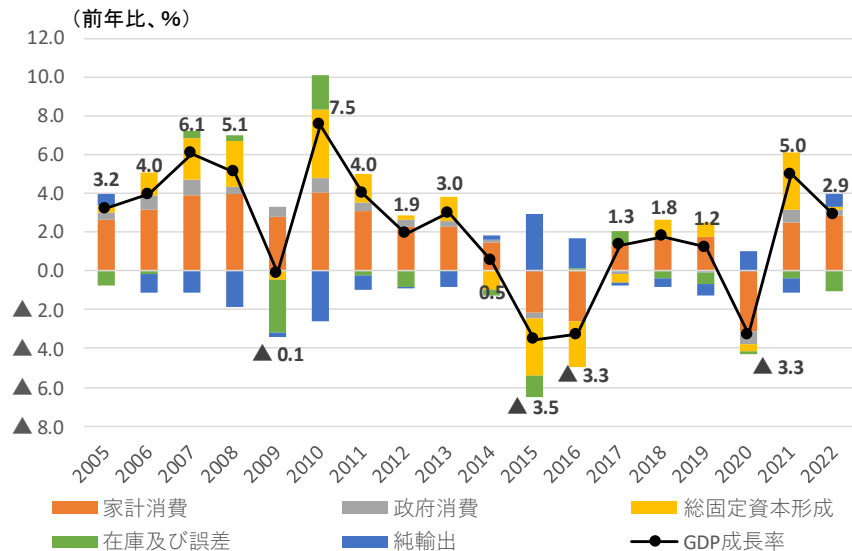
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が9月に発表した2023年第2四半期の実質GDP成長率は前期比+0.9%(8四半期連続のプラス)、前年同期比+3.4%(10四半期連続のプラス)となった。

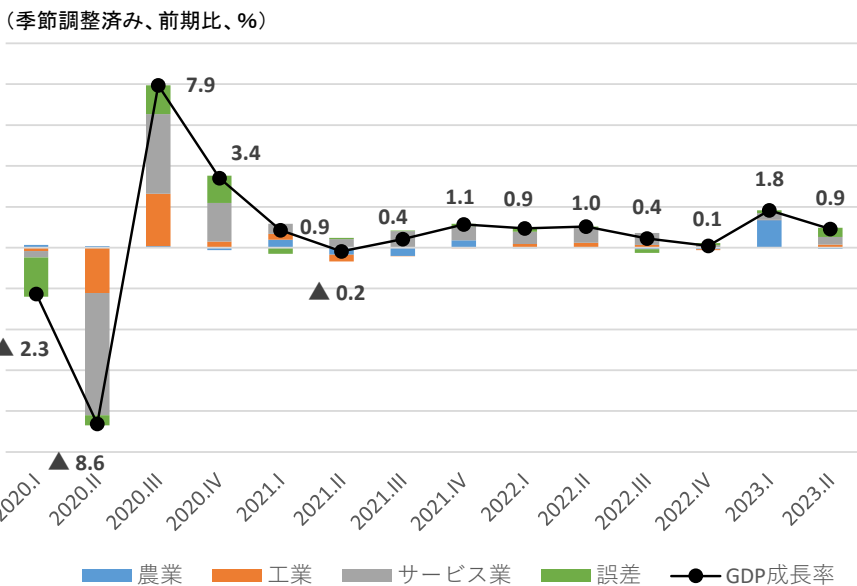
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



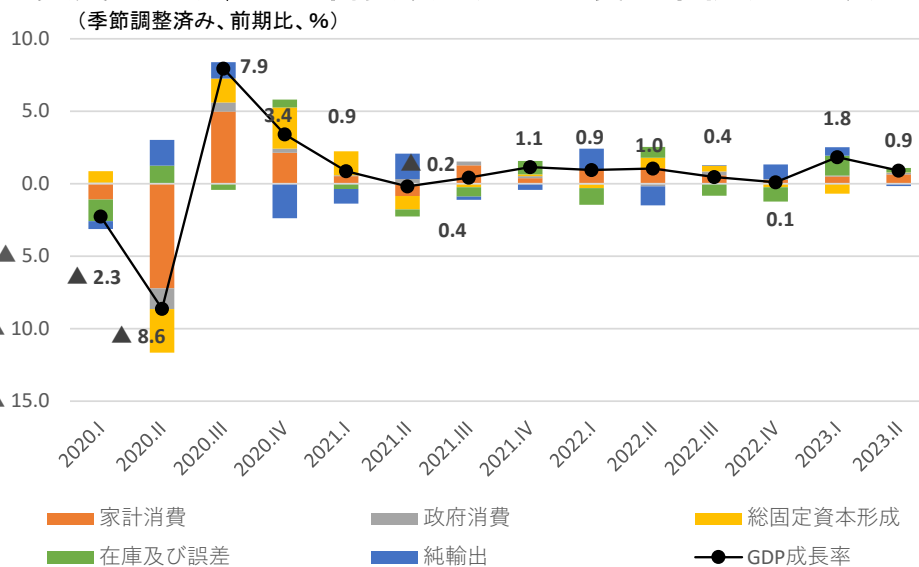
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



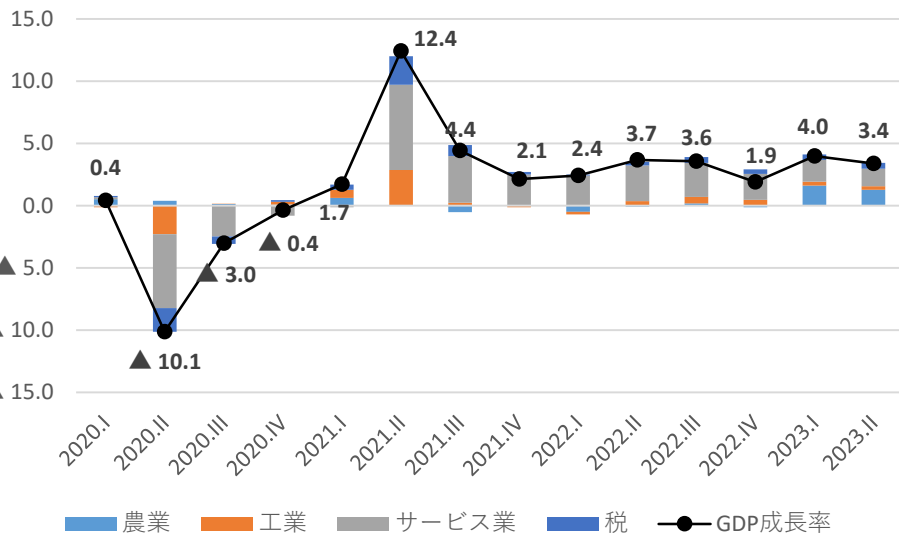
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院 (IBGE) 2

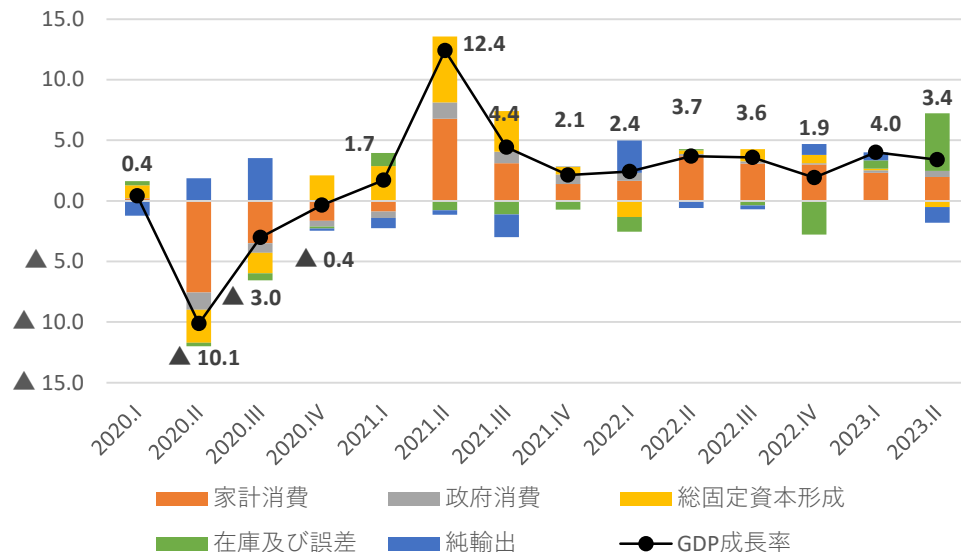
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

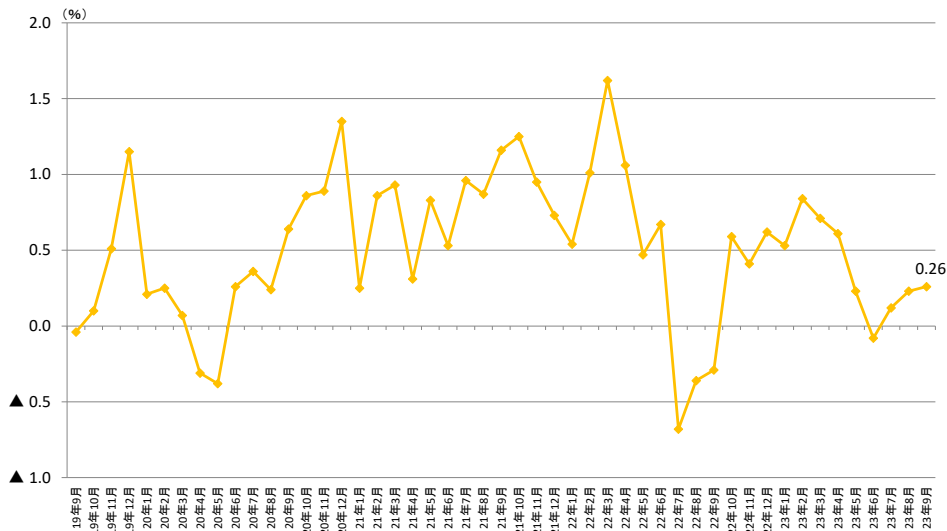
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2023	2024
IMF (2023年10月)	+3.1%	+1.5%
伯財務省 (2023年9月)	+3.2%	+2.3%
伯中銀 (2023年9月)	+2.9%	+1.8%
伯中銀Focus (2023年10月27日)	+2.89%	+1.50%

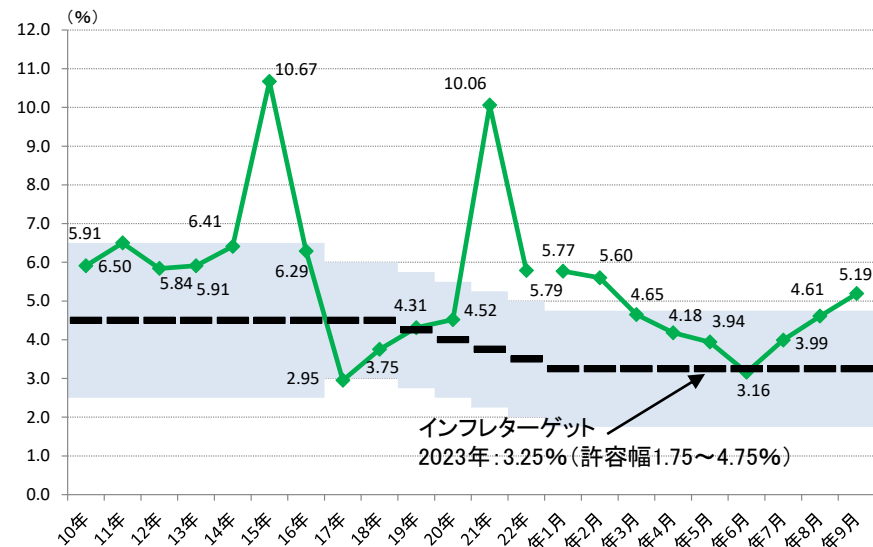
物価の動向と政策金利

9月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.26%、直近12か月累計では+5.19%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



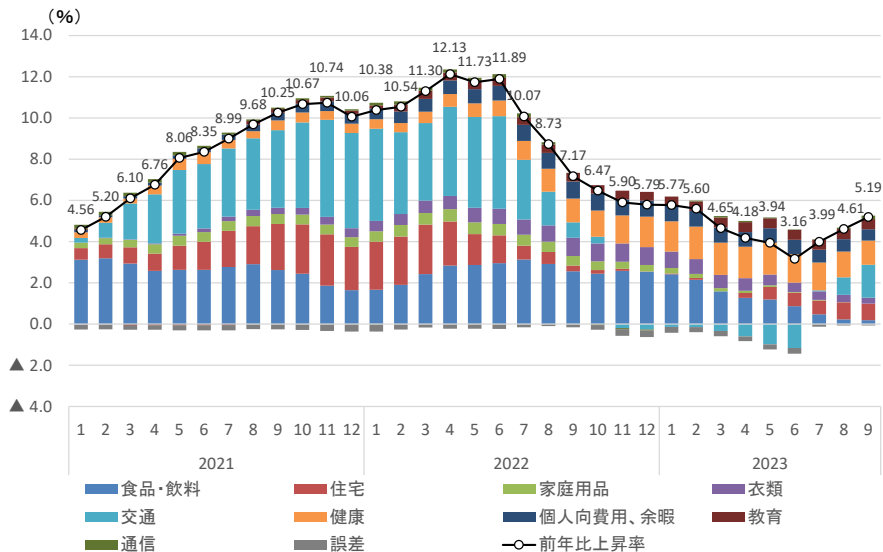
拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

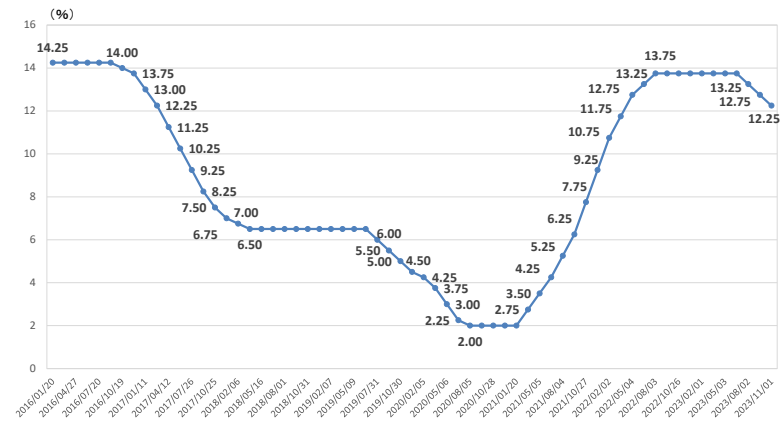
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の項目別寄与度



政策金利の推移(2016年~)

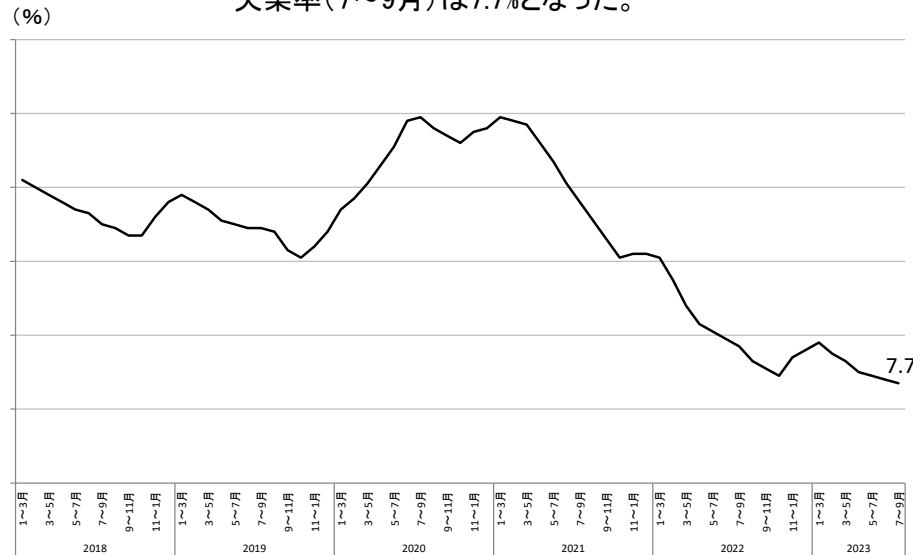
10月31日及び11月1日に開催された伯中央銀行金融政策委員会(Copom)において、政策金利であるSelic金利を50bp引き下げて12.25%とすることが決定された。次回会合は12月12日及び13日に開催予定。



労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

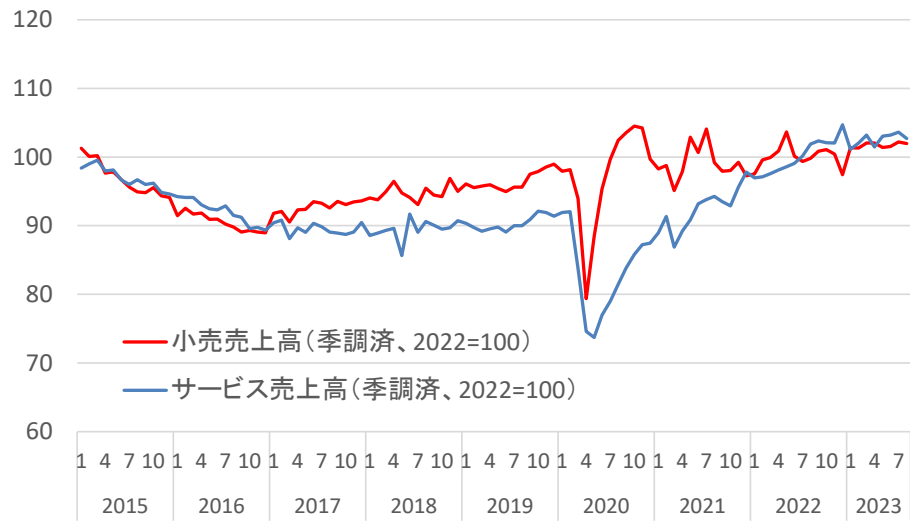
失業率(7~9月)は7.7%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(8月)は前月比▲0.2%、前年同月比+2.3%となった。サービス売上高(8月)は前月比▲0.9%、前年同月比+0.9%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(8月)は前月比+0.4%、前年同月比+0.5%となった。

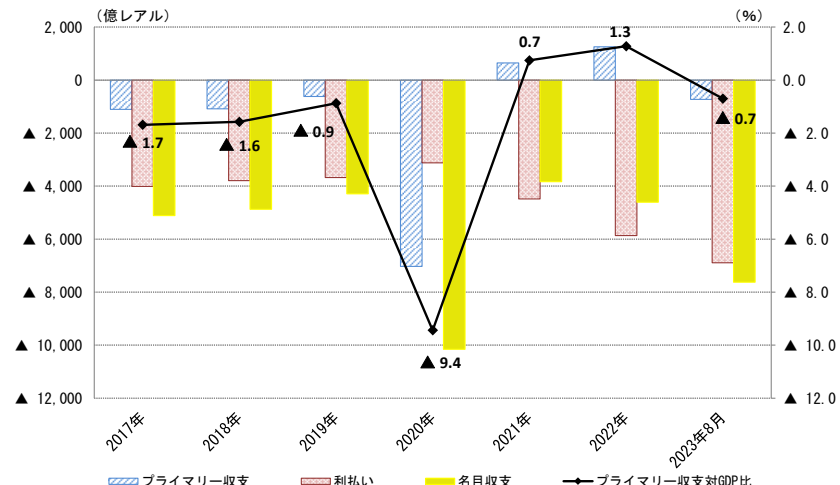
(2022年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計) ※更新無し

公的部門(連邦政府、地方政府、公営企業)の2023年8月のプライマリ収支(税収等と政策的経費の収支)は▲731億レアルの赤字、利払い費は▲6,894億レアルで、これらを合計した名目収支は▲7,625億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

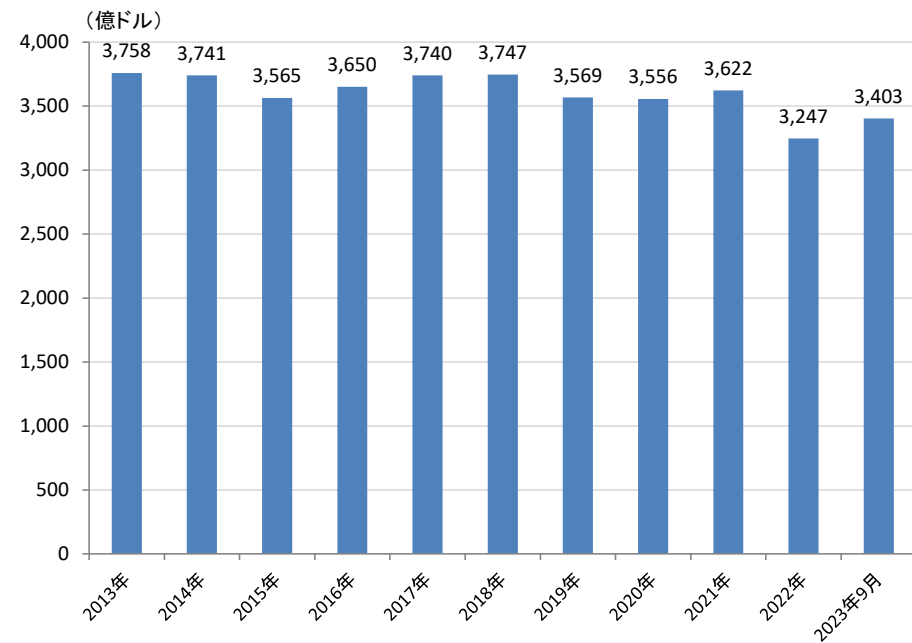
国際収支

(億ドル)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 9月
経常収支	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 464	▲ 536	▲ 209
貿易収支	434	265	324	364	442	587
サービス収支	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 270	▲ 396	▲ 267
第1次所得収支	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 619	▲ 537
第2次所得収支	▲ 0	12	23	32	37	8
資本移転収支	4	4	41	2	2	3
金融収支	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 502	▲ 554	▲ 204
直接投資	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 539	▲ 267
対外直接投資	20	228	▲ 35	162	334	149
対内直接投資	782	692	378	464	872	416
証券投資	69	192	129	▲ 79	42	▲ 30
金融派生商品	28	17	54	▲ 10	▲ 20	▲ 29
その他投資	113	▲ 128	247	▲ 251	36	▲ 62

(出典) 伯中央銀行

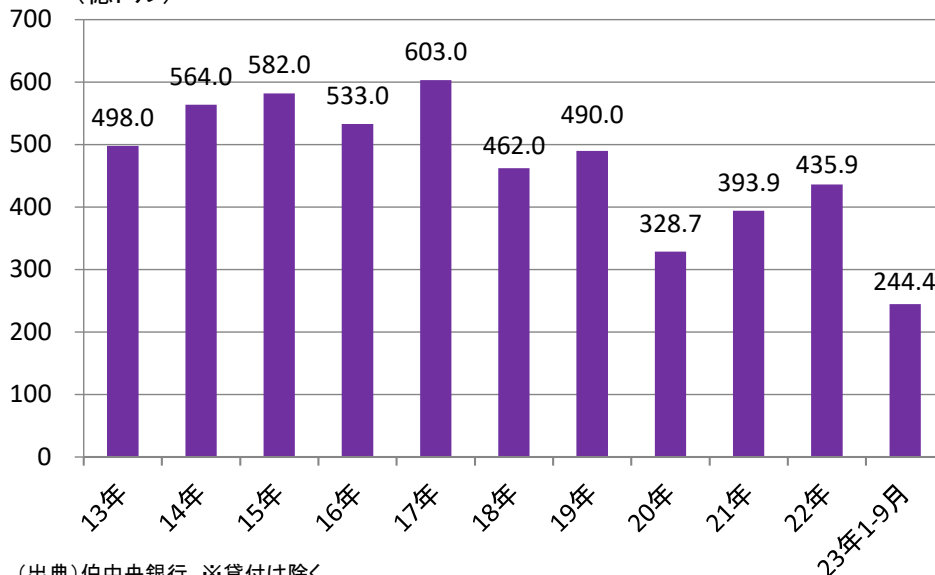
外貨準備高



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

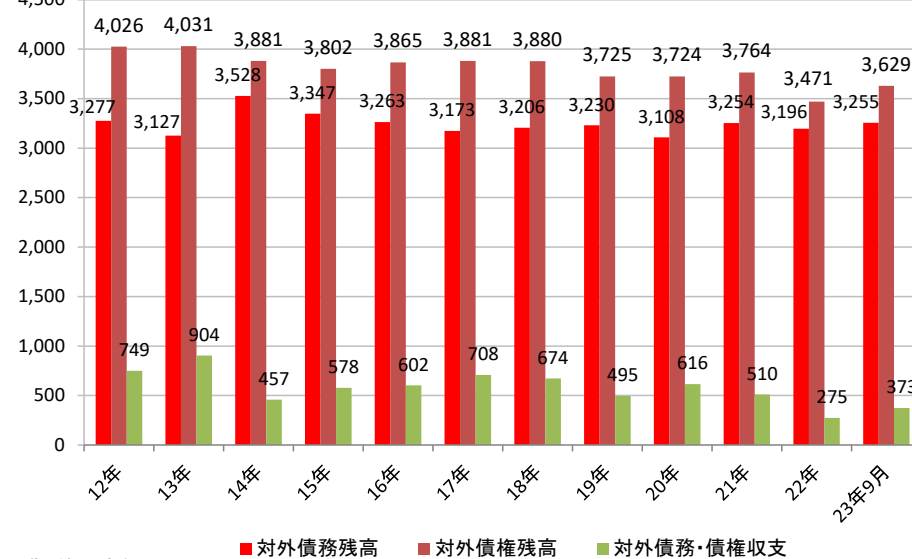
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

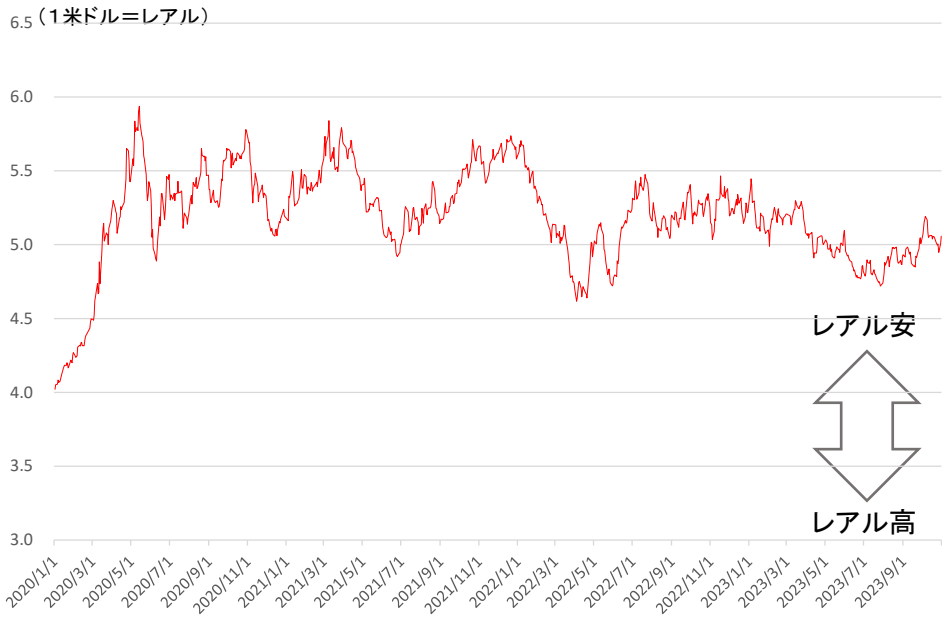
為替・株価の推移

10月の為替市場は4.95～5.19リアル/ドルで推移。

月の前半は5.05～5.19リアル/ドルで推移。米金融政策見通し等を材料に上下して推移した。

月の後半は4.95～5.06リアル/ドルで推移。米国金融政策の見通しや中東情勢、伯財政の見通し等を材料に上下して推移した。

為替の推移(対米ドル)



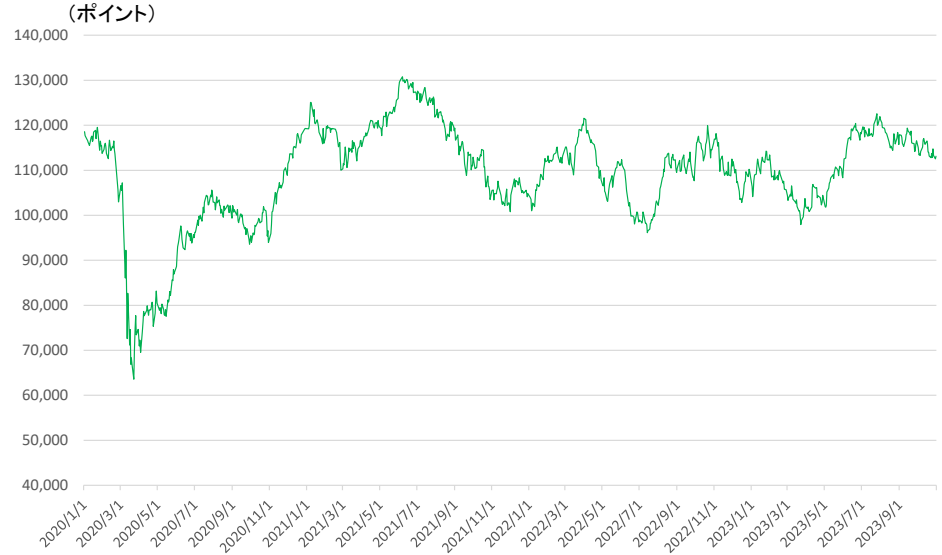
(出典) 伯中央銀行

10月の株式市場は112,532～117,051ポイントで推移。

月の前半は113,607～117,051ポイントで推移。資源価格の動向等を材料に上下し、概ね上昇傾向で推移した。

月の後半は112,532～116,534ポイントで推移。米国金融政策の見通しや中東情勢、伯財政の見通し等を材料に上下し、概ね下落傾向で推移した。

株価指数(Ibovespa)の推移



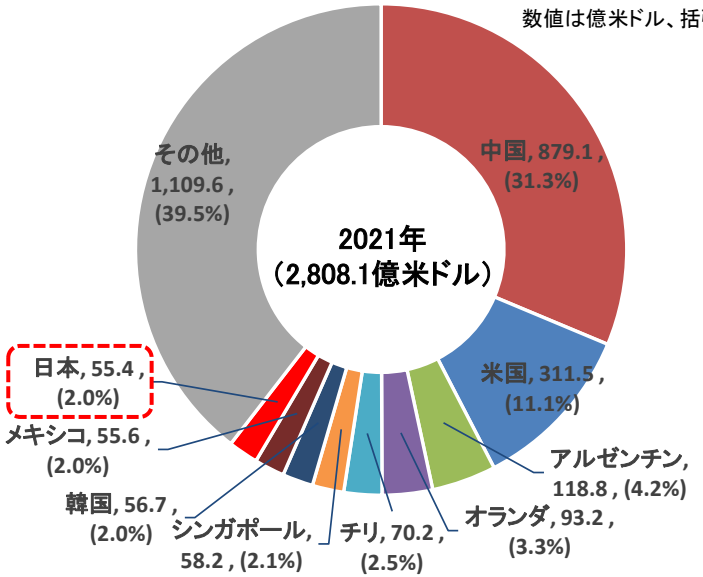
(出典) B3

III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2022年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で10位となっている。

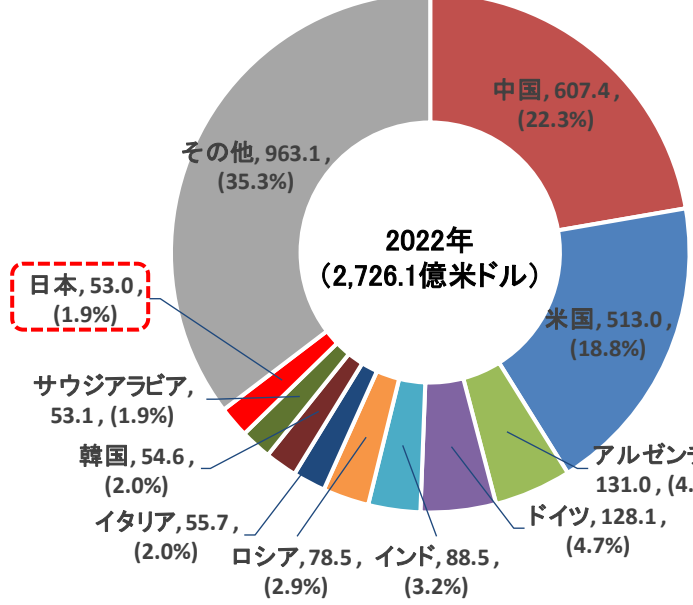
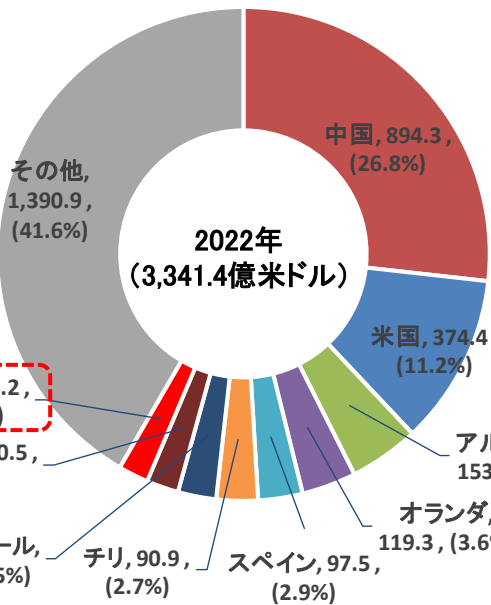
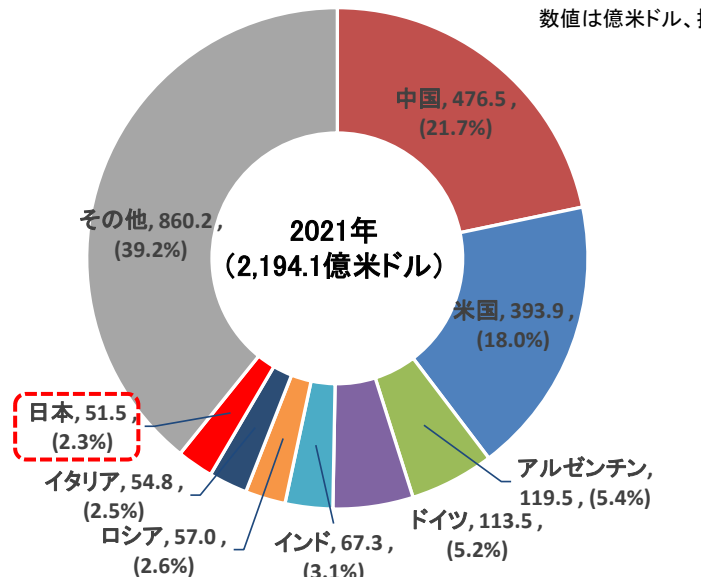
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比(国別)

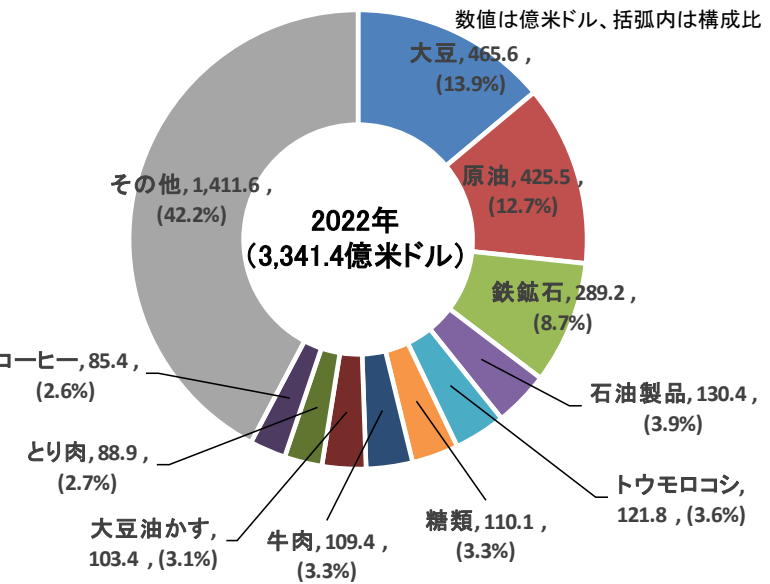
数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC
※数値は2023年3月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(原油、鉄鉱石等)、食品(大豆、トウモロコシ、糖類、肉類等)。主要輸入品目は石油製品、肥料、自動車部分品を中心に、電気機器など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	465.6	100.0
① 中国	317.8	68.3
② スペイン	19.4	4.2
③ タイ	16.8	3.6
④ イラン	13.5	2.9
⑤ オランダ	11.3	2.4

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全体	425.5	100.0
① 中国	165.3	38.8
② 米国	50.6	11.9
③ スペイン	35.7	8.4
④ チリ	31.3	7.4
⑤ ポルトガル	25.3	5.9

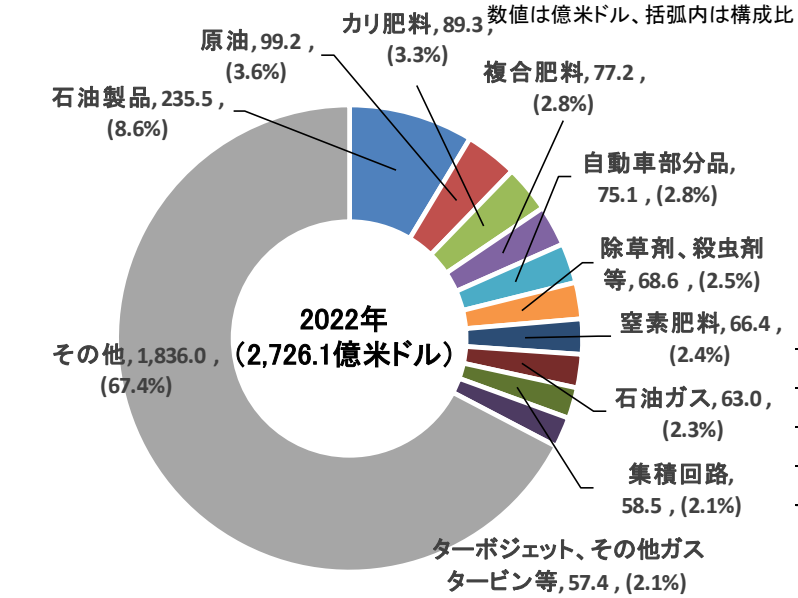
【鉄鉱石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	289.2	100.0
① 中国	181.9	62.9
② マレーシア	15.2	5.3
③ バーレーン	13.3	4.6
④ 日本	11.0	3.8
⑤ 韓国	8.6	3.0

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
全体	130.4	100.0
① シンガポール	58.6	44.9
② オランダ	8.8	6.8
③ 米国	4.9	3.8
④ ヴァージン諸島	4.8	3.7
⑤ パナマ	4.7	3.6

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	235.5	100.0
米国	127.9	54.3
インド	25.9	11.0
UAE	22.4	9.5
オランダ	11.7	5.0
ロシア	11.1	4.7

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
合計	99.2	100.0
① サウジアラビア	32.0	32.3
② 米国	30.0	30.3
③ UAE	11.9	12.0
④ オランダ	5.8	5.9
⑤ ロシア	5.7	5.7

【カリ肥料】

	億米ドル	構成比(%)
合計	90.7	100.0
① カナダ	37.1	40.9
② ロシア	24.3	26.8
③ イスラエル	8.7	9.6
④ ドイツ	8.4	9.3
⑤ ベラルーシ	3.6	4.0

【複合肥料】

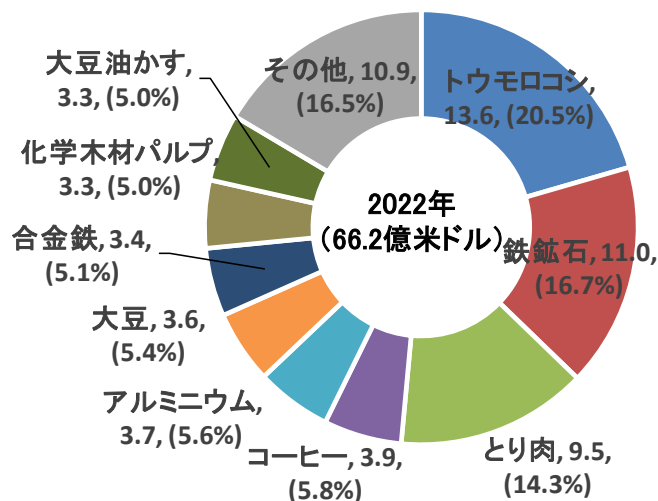
	億米ドル	構成比(%)
合計	77.2	100.0
① ロシア	22.4	29.0
② 米国	14.8	19.2
③ モロッコ	13.3	17.2
④ 中国	8.0	10.3
⑤ サウジアラビア	7.2	9.3

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（トウモロコシ、肉類、コーヒー、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

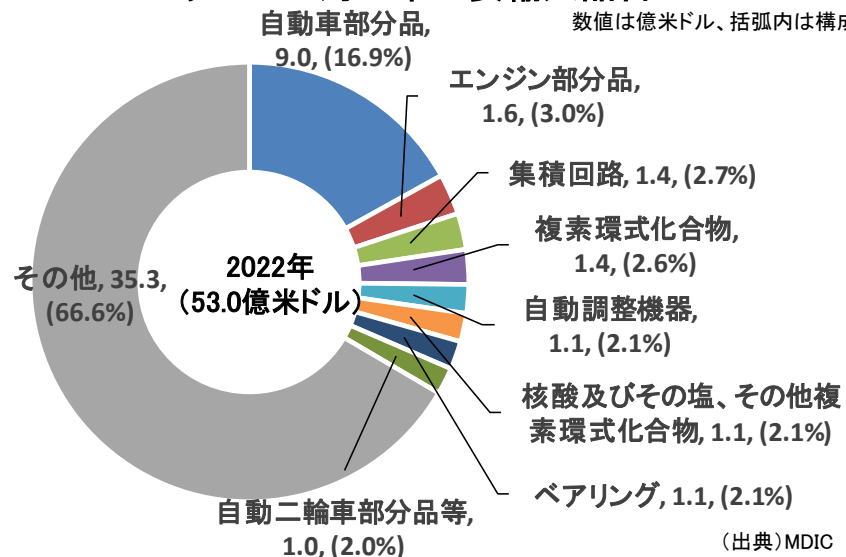
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) MDIC

※数値は2023年3月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2022年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
【とうもろこし】			【鉄鉱石】			【とり肉】			【アルミニウム】		
総計	7,643.4	100.0	総計	18,050.2	100.0	総計	2,077.8	100.0	総計	9,206.4	100.0
① アメリカ合衆国	4,921.7	64.4	① オーストラリア	9,579.8	53.1	① <u>ブラジル</u>	1,407.5	67.7	① アラブ首長国連邦	1,711.6	18.6
② <u>ブラジル</u>	1,744.7	22.8	② <u>ブラジル</u>	5,818.4	32.2	② タイ	611.4	29.4	② ロシア	1,501.2	16.3
③ アルゼンチン	530.2	6.9	③ カナダ	1,313.9	7.3	③ アメリカ合衆国	33.6	1.6	③ オーストラリア	1,388.7	15.1
④ 南アフリカ共和国	379.6	5.0	④ 南アフリカ共和国	611.0	3.4	④ ハンガリー	6.2	0.3	④ ニューージーランド	681.0	7.4
⑤ ウクライナ	41.7	0.5	⑤ アメリカ合衆国	273.4	1.5	⑤ フランス	6.0	0.3	⑤ サウジアラビア	586.1	6.4
【コーヒー】			【大豆】			【合金鉄】			⑥ 中華人民共和国	503.6	5.5
総計	2,333.3	100.0	総計	3,391.0	100.0	総計	4986.1	100.0	⑦ <u>ブラジル</u>	476.6	5.2
① <u>ブラジル</u>	572.6	24.5	① アメリカ合衆国	2,420.1	71.4	① カザフスタン	956.3	19.2			
② コロンビア	396.4	17.0	② <u>ブラジル</u>	570.1	16.8	② 中華人民共和国	557.3	11.2			
③ ベトナム	306.6	13.1	③ カナダ	364.6	10.8	③ ロシア	533.6	10.7			
④ エチオピア	179.9	7.7	④ 中華人民共和国	33.4	1.0	④ <u>ブラジル</u>	500.8	10.0			
⑤ グアテマラ	175.8	7.5	⑤ ロシア	2.7	0.1	⑤ マレーシア	497.0	10.0			

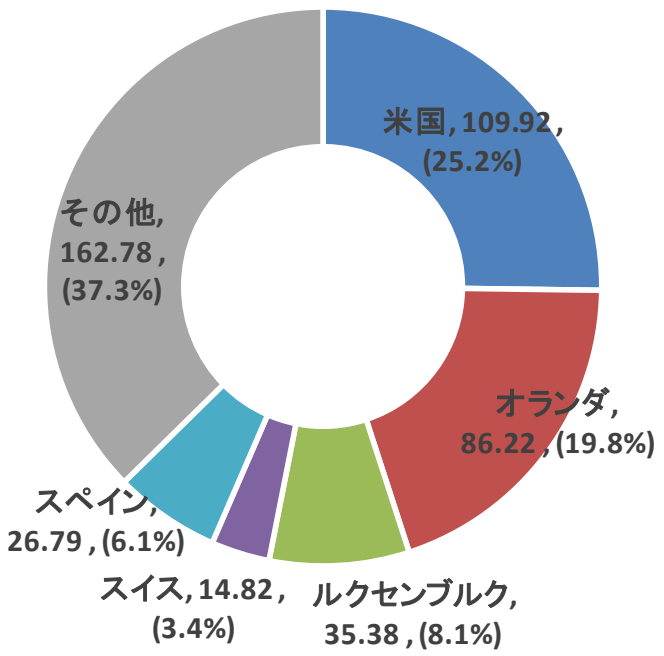
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

(出典)財務省(日本)
※数値は2023年3月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比 総額435.9億ドル(2022年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



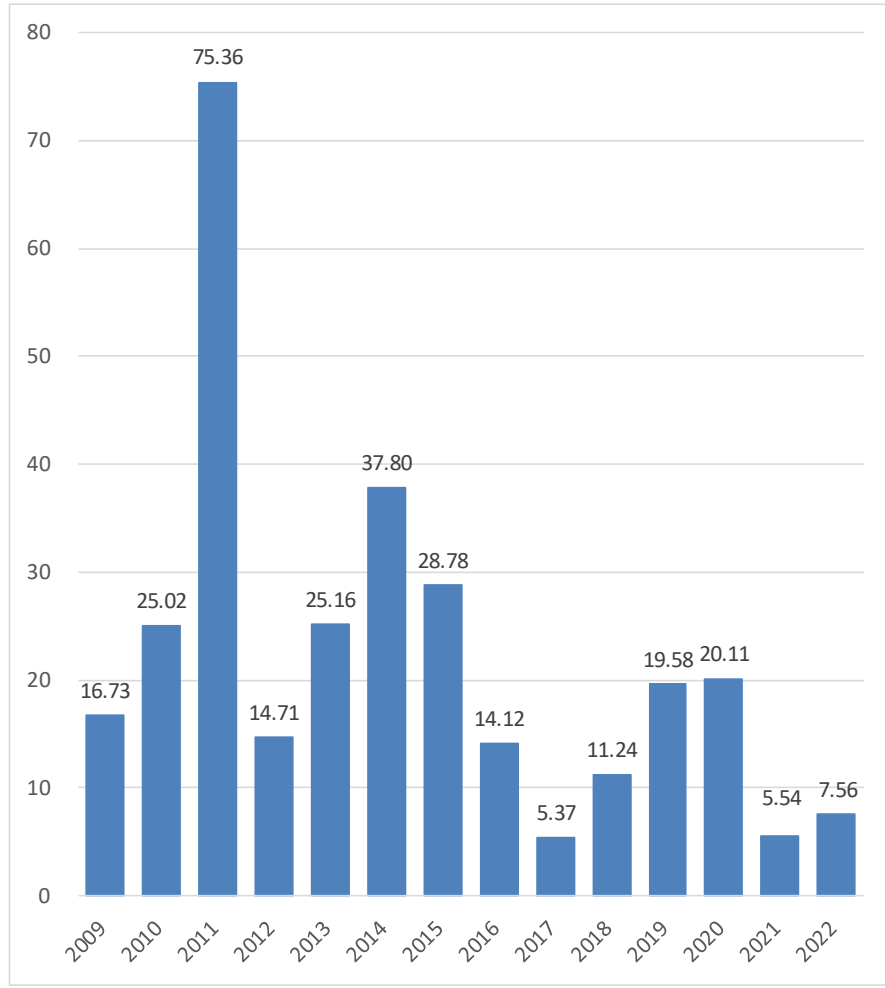
(出典) 伯中央銀行

2022年の日本の直接投資額(資本参加分)は7.56億ドルで構成比は1.73%と、10番目の規模。

※ 中国:0.35億ドル(0.08%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行